



## 建築デザインサポート研究室

技能工芸学部  
建設学科

**澤田 正樹**  
Sawada Masaki

■ 教授、博士（工学）  
一級建築士  
設備設計一級建築士  
建築基準適合判定資格者

Key word → 建築トラブル、建築・環境デザイン

## 設計者によるプロジェクトを円滑に進める方策を探っています

### 分野 支援可能な分野

- 設計者によるトラブル回避啓発
- 建築にまつわる規制・基準の分析
- 専門分野を横断した設計教育

### 業績 研究実績・業績

- 調停実績報告書による建築紛争に至る仕組みに関する研究
- 不具合から発展する建築紛争の傾向と設計・監理者による紛争回避方策
- 設計・工事プロセスが阻害されることで建築紛争に発展しうる事件の傾向

### 学会 学会・委員会

- 日本建築学会司法支援建築会議調査研究部会委員
- 民間（七会）建築連合協定建築工事請負契約約款委員会広報部会委員
- 日本建築士連合会建築技術等部会委員

### 活動 設計者に向けた トラブル回避啓発活動

#### 1 著書・研究発表による啓発活動

これまでに、設計図書を理由に経緯が複雑な建築紛争に発展することを明らかにしました。そのことを著書や発表などを通じて、建築紛争に至らない啓発活動を行っています。



著書



研究発表

#### 2 大学・企業向けセミナー

設計者を目指している学生や、設計事務所などの企業に向けて、トラブル回避セミナーを行っています。



大学院建築学専攻向けセミナー

## 建築・設備といった分野を横断した設計計画研究、教育をします

### 調査研究

#### トラブル事例の蓄積・分析

##### 1 トラブル事例の多角的検討

建築に関するトラブルはさまざまです。建築設計や施工に限らず、法規制に関することや、設備といった技術的側面における基準もあり、トラブル回避に当たって、統合的な専門知識を要します。このような事例にも対処するべく、検討および分野を横断した多角的分析を進めています。

##### 2 事例蒐集

研究において、データの蒐集は不可欠です。トラブル回避におけるデータは、主に判決文などの建築紛争事例になります。しかしながら、建築に限らず事件は、特別な法律系雑誌などを除いて紹介されていません。そこで、法律系の書籍などのほか、裁判所や日本建築学会司法支援建築会議を通じて、建築紛争事例を蒐集しています。



日本建築学会司法支援建築会議HP

### 学生教育

#### 建築・設備を統合した設計計画

##### 1 建築関連法規の体系・経緯

風潮や技術革新などによって、社会の考え方は変化することはご承知のとおりです。建築も同様であり、類似した不具合でも、以前は問題にならなかったことがトラブルになることがあります。そこで学生に対して、建築法規を通じて、普遍的な考え方とともに、現在の解釈に至った経緯を共に分析、教育します。

##### 2 建築・環境デザイン

省エネは重視しなければならないテーマである一方、特に建築設備はデザインのサポートと捉えられがちです。そこでこれまでの設計経験やトラブル回避研究で得た建築設備の知見より、学生の発想を重視した建築・環境デザイン教育を行います。



例：快適住宅コンテスト案

### 一言Message

建築・設備・法規などの専門にとらわれずに建築・環境デザイン教育、サポートします。